

# 明日香をさぐる

おおさかしながのみささぎ

## 「大坂磯長陵について」

今回は孝徳天皇の大坂磯長陵について紹介したいと思います。

飛鳥時代の舒明天皇から文武天皇までの歴代天皇の陵は八角墳が採用されています。その中で孝徳天皇の陵については現在、大阪府太子町にある上ノ山古墳が宮内庁により大坂磯長陵に治定されています。上ノ山古墳は直径約35m、高さ約7mの円墳とされています。地元に残された江戸時代の史料に洞窟（石室）の中に石棺が存在していたことが伝えられています。この上ノ山古墳付近からは直径約12cmの海獣葡萄鏡が出土しています。鏡の特徴から7世紀末頃のものと考えられます。

孝徳天皇は白雉5（649）年10月10日に難波長柄豊崎宮の正寝において58歳の若さで崩御され、

同12月8日、大坂磯長陵に埋葬されたことが『日本書紀』に記されています。殯宮は小山上百舌鳥土師連土徳によって難波長柄豊崎宮の南庭に設けられます。孝徳天皇は発病から崩御までの期間が短く、殯も二か月間であったことが伝えられています。喪葬儀礼や造陵など慌ただしく行われたことが想像されます。磯長谷には蘇我系の敏達天皇や推古天皇、用明天皇、厩戸皇子の陵墓が築かれています。蘇我本宗家が滅亡した645年以降、磯長谷最後の皇陵となる大坂磯長陵が造営されます。上ノ山古墳以外にも太平塚古墳（太子町）や叡福寺北古墳（太子町）も大坂磯長陵の候補地に挙げられて

います。

孝徳天皇の大坂磯長陵が飛鳥の地ではなく、なぜ磯長谷に造営されたのか、また墳丘は八角形をしているのかなどまだまだ多くの課題が残されています。

大坂磯長陵は乙巳の変以降最初に造営された「陵」として、律令国家形成期の喪葬を考える上で重要な位置を占めています。

（明日香村教育委員会文化財課）



▲大坂磯長陵（上ノ山古墳）

## 明日香村発掘調査報告会 2025

【日時】 3月20日(金・祝) 13時～16時  
(12時30分 開場)

【会場】 中央公民館 ホール

【内容】 <<調査報告>>  
「甘樫丘遺跡群の調査」 長谷川 透

<<学术交流報告>>  
「大韓民国扶余郡との  
世界遺産の取り組み」  
小池 香津江

<<記念講演>>  
「孝徳天皇大坂磯長陵の再検討」  
四天王寺大学講師  
辰巳 俊輔 先生

【参加費】 入場無料・先着順（160名）

【問い合わせ】 文化財課 ☎54-5600